

平成22年2月期 第3四半期決算短信

平成22年1月8日

上場会社名 株式会社 オンワードホールディングス
 コード番号 8016 URL <http://www.onward-hd.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 水野 健太郎
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役財務経理部担当 (氏名) 吉沢 正明
 四半期報告書提出予定日 平成22年1月14日
 配当支払開始予定日 —

上場取引所 東 大 名

TEL 03-3272-2317

(百万円未満切捨て)

1. 平成22年2月期第3四半期の連結業績(平成21年3月1日～平成21年11月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年2月期第3四半期	187,837	—	6,373	—	6,874	—	2,689	—
21年2月期第3四半期	206,018	△5.5	12,945	△22.7	12,309	△41.8	△9,690	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年2月期第3四半期	17.17	17.10
21年2月期第3四半期	△61.85	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年2月期第3四半期	295,470	156,568	52.4	989.22
21年2月期	296,282	158,418	52.9	1,001.36

(参考) 自己資本 22年2月期第3四半期 154,965百万円 21年2月期 156,866百万円

2. 配当の状況

	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年2月期	—	—	—	30.00	30.00
22年2月期	—	—	—		
22年2月期 (予想)				24.00	24.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成22年2月期の連結業績予想(平成21年3月1日～平成22年2月28日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	247,600	△5.1	3,700	△59.3	5,200	△17.3	2,000	—	12.77

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

(注)詳細は、5ページ【定性的情報・財務諸表等】 4.その他をご覧ください。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)

① 会計基準等の改正に伴う変更 有

② ①以外の変更 無

(注)詳細は、5ページ【定性的情報・財務諸表等】 4.その他をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	22年2月期第3四半期	172,921,669株	21年2月期	172,921,669株
---------------------	-------------	--------------	--------	--------------

② 期末自己株式数	22年2月期第3四半期	16,267,901株	21年2月期	16,267,855株
-----------	-------------	-------------	--------	-------------

③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間)	22年2月期第3四半期	156,652,872株	21年2月期第3四半期	156,660,230株
----------------------	-------------	--------------	-------------	--------------

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1.本資料に記載されている業績予想に関する記述は、本資料発表日現在において当社が入手可能な情報に基づき判断して作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

2.当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準 第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針 第14号)を適用しています。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しています。

【定性的情報・財務諸表等】

1. 連結経営成績に関する定性的情報

(1)業績の概要

当第3四半期連結累計期間(平成21年3月1日～平成21年11月30日)におけるわが国経済は、世界的な金融・経済危機の影響を受けて以降、景気停滞局面が続く厳しい経済環境となりました。

当アパレル業界におきましても、消費マインドの冷え込みなどから低価格競争へのデフレ基調が続く、深刻な状況で推移しました。

このような経営環境のなか、当社グループは、経営の効率化を進め、収益性の改善に向けて事業運営を推進してきました。しかしながら、第3四半期の期間業績につきましては上期より改善がはかれたものの、累計期間では前年を下回る業績となりました。

以上の結果、連結売上高は1,878億37百万円(前年同期比8.8%減)、連結営業利益は63億73百万円(前年同期比50.8%減)、連結経常利益は68億74百万円(前年同期比44.2%減)、連結四半期純利益は26億89百万円(前年同期は四半期純損失96億90百万円)となりました。

(2)セグメント別の業績

事業の種類別セグメントの状況は、次のとおりです。

①アパレル関連事業

国内事業につきましては、株式会社オンワード樫山において、消費者が価値を認める「価値価格」の実現に向け、基幹ブランドを中心に企画・生産から販売までの効率化に取り組み、粗利益率の改善、期間後半から売上高は回復基調に向かうなど成果が現れてきました。しかしながら累計期間としては、前年を下回る結果となりました。他のアパレル関連子会社においては、売上高は減少したものの、営業利益は増益を確保しました。

海外事業につきましては、欧州地区において、ラグジュアリー市場が依然として厳しいことから減収減益となりました。アジア、その他地区につきましては、売上高は減少しましたが、営業利益は増益となりました。

以上の結果、売上高1,768億37百万円(前年同期比8.5%減)、営業利益61億53百万円(前年同期比51.1%減)となりました。

②その他の事業

サービス関連事業、リゾート関連事業につきましては、売上高は減少したものの、経営効率の改善により営業利益は増益となりました。

以上の結果、売上高161億4百万円(前年同期比13.7%減)、営業利益45百万円(前年同期比119.8%増)となりました。

また、所在地別セグメントの状況は、次のとおりです。

①日本

国内事業につきましては、グループの中心である、株式会社オンワード樫山が市況低迷のなか、効率経営を徹底し収益改善を進めてきましたが、累計期間としては減収減益となりました。その他の子会社は、売上高は前年を下回りましたが、営業利益は増益となりました。

以上の結果、売上高 1,551 億 45 百万円(前年同期比 12.0%減)、営業利益 89 億 2 百万円(前年同期比 25.8%減)となりました。

②欧州

欧州の事業につきましては、長引く経済危機の影響から市況の回復が遅れ、減益となりました。

以上の結果、売上高 289 億 31 百万円(前年同期比 14.0%増)、営業損失 25 億 64 百万円(前年同期は営業利益 8 億 51 百万円)となりました。

③その他

北米やアジアなどの地域の業績は以下のとおりです。

売上高 52 億 70 百万円(前年同期比 19.4%減)、営業損失 3 億 77 百万円(前年同期は営業損失 4 億 62 百万円)となりました。

※「連結経営成績に関する定性的情報」における前年同期増減率および金額は、参考としていません。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

(1)資産、負債、純資産の状況

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ 8 億 11 百万円減少し、2,954 億 70 百万円となりました。負債は、前連結会計年度末に比べ 10 億 38 百万円増加し、1,389 億 2 百万円となりました。純資産は、前連結会計年度末に比べ 18 億 49 百万円減少し、1,565 億 68 百万円となり、自己資本比率は、52.4%となりました。

(2)キャッシュ・フローの状況

営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前四半期純利益が 76 億 26 百万円となりましたが、季節要因による毎第3四半期連結会計期間末の特徴であります売上債権、たな卸資産の増加などの支出要因があり 35 億 72 百万円の収入(前年同期は 19 億 45 百万円の収入)となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、店舗・売場への投資等により 29 億 6 百万円の支出(前年同期は 445 億 86 百万円の支出)となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローは、配当金の支払が主なもので 27 億 75 百万円の支出(前年同期は 252 億 75 百万円の収入)となりました。

これらの結果、当第3四半期末における現金および現金同等物は前連結会計年度末に比べて 20 億 1 百万円増加し、213 億 24 百万円となりました。

※「連結財政状態に関する定性的情報」における前年同期額は、参考としています。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

平成22年2月期の通期の連結業績予想につきましては、平成21年10月9日公表の業績予想から修正を行っていません。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結の範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

該当事項はありません。

※当社は、平成21年12月1日付けでレディスファッションブランドを主体に展開する株式会社アイランドの全株式を取得しています。同社を当第4四半期会計期間より連結の範囲に含める予定です。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

重要性が乏しいため、記載を省略しています。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

①「四半期連結財務諸表に関する会計基準」の適用

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しています。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しています。

②「棚卸資産の評価に関する会計基準」の適用

棚卸資産の評価基準及び評価方法について、第1四半期連結会計期間より「棚卸資産の評価に関する会計基準(企業会計基準第9号 平成18年7月5日)」を適用しています。この適用に伴う損益に与える影響は軽微です。

③「連結財務諸表作成における在外子会社の会計処理に関する当面の取扱い」の適用

第1四半期連結会計期間より「連結財務諸表作成における在外子会社の会計処理に関する当面の取扱い」(実務対応報告第18号 平成18年5月17日)を適用し、連結決算上必要な修正を行っています。

この変更に伴う損益に与える影響は軽微です。

5 【四半期連結財務諸表】
 (1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：百万円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成21年11月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年2月28日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	23,211	23,415
受取手形及び売掛金	32,812	26,420
商品及び製品	33,640	29,359
仕掛品	662	1,410
原材料及び貯蔵品	2,877	2,988
その他	11,844	15,514
貸倒引当金	△578	△162
流動資産合計	104,470	98,945
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	28,388	29,113
土地	53,034	53,041
その他(純額)	8,262	8,019
有形固定資産合計	89,685	90,174
無形固定資産		
のれん	44,947	47,475
その他	3,315	2,899
無形固定資産合計	48,263	50,374
投資その他の資産		
投資有価証券	33,234	33,824
その他	22,627	25,686
貸倒引当金	△2,810	△2,723
投資その他の資産合計	53,051	56,788
固定資産合計	191,000	197,336
資産合計	295,470	296,282

(単位：百万円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成21年11月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年2月28日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	38,715	39,620
短期借入金	35,669	31,647
未払法人税等	4,585	2,261
賞与引当金	3,814	2,187
役員賞与引当金	171	133
返品調整引当金	794	637
その他	11,175	15,880
流動負債合計	94,927	92,368
固定負債		
長期借入金	25,050	26,746
退職給付引当金	3,273	2,933
役員退職慰労引当金	64	56
その他	15,586	15,760
固定負債合計	43,975	45,496
負債合計	138,902	137,864
純資産の部		
株主資本		
資本金	30,079	30,079
資本剰余金	50,043	50,043
利益剰余金	119,400	121,412
自己株式	△23,502	△23,512
株主資本合計	176,020	178,023
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△7,326	△6,929
繰延ヘッジ損益	△18	△75
土地再評価差額金	△11,074	△11,074
為替換算調整勘定	△2,635	△3,076
評価・換算差額等合計	△21,054	△21,156
新株予約権	386	293
少数株主持分	1,216	1,258
純資産合計	156,568	158,418
負債純資産合計	295,470	296,282

(2) 【四半期連結損益計算書】
【第3四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	当第3四半期連結累計期間 (自平成21年3月1日 至平成21年11月30日)
売上高	187,837
売上原価	99,292
売上総利益	88,544
販売費及び一般管理費	82,170
営業利益	6,373
営業外収益	
受取利息	95
受取配当金	399
受取ロイヤリティー	659
受取地代家賃	962
その他	953
営業外収益合計	3,070
営業外費用	
支払利息	879
為替差損	446
その他	1,243
営業外費用合計	2,569
経常利益	6,874
特別利益	
投資有価証券売却益	2,004
その他	101
特別利益合計	2,105
特別損失	
投資有価証券評価損	698
減損損失	93
その他	561
特別損失合計	1,352
税金等調整前四半期純利益	7,626
法人税等	4,952
少数株主利益	△15
四半期純利益	2,689

(3) 【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：百万円)

	当第3四半期連結累計期間 (自平成21年3月1日 至平成21年11月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純利益	7,626
減価償却費	4,266
減損損失	93
のれん償却額	2,492
貸倒引当金の増減額(△は減少)	225
退職給付引当金の増減額(△は減少)	606
受取利息及び受取配当金	△494
支払利息	879
投資有価証券売却損益(△は益)	△2,004
売上債権の増減額(△は増加)	△5,786
たな卸資産の増減額(△は増加)	△2,924
仕入債務の増減額(△は減少)	△1,456
その他	334
小計	3,858
利息及び配当金の受取額	595
利息の支払額	△1,022
法人税等の支払額	△2,057
法人税等の還付額	2,199
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,572
投資活動によるキャッシュ・フロー	
定期預金の預入による支出	△474
定期預金の払戻による収入	176
有形固定資産の取得による支出	△2,295
投資有価証券の取得による支出	△6,900
投資有価証券の売却による収入	8,120
長期前払費用の取得による支出	△454
その他	△1,078
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,906
財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入金の純増減額(△は減少)	3,957
長期借入金の返済による支出	△1,731
自己株式の取得による支出	△6
配当金の支払額	△4,699
その他	△295
財務活動によるキャッシュ・フロー	△2,775
現金及び現金同等物に係る換算差額	107
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△2,001
現金及び現金同等物の期首残高	23,326
現金及び現金同等物の四半期末残高	21,324

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計規則第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しています。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しています。

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

1. 事業の種類別セグメント情報

当第3四半期連結累計期間(自 平成21年3月1日 至 平成21年11月30日)

	アパレル 関連事業 (百万円)	その他の事業 (百万円)	計 (百万円)	消去又は全社 (百万円)	連結 (百万円)
売 上 高					
(1) 外部顧客に対する売上高	176,823	11,013	187,837	—	187,837
(2) セグメント間の 内部売上高又は振替高	14	5,090	5,105	(5,105)	—
計	176,837	16,104	192,942	(5,105)	187,837
営 業 利 益	6,153	45	6,198	174	6,373

(注) 事業区分については、事業目的により、アパレル関連事業とその他の事業に区分しています。

アパレル関連事業……………紳士服、婦人服等の製造販売

その他の事業……………物流関連事業、スポーツ施設の経営、リゾート施設の経営等

2. 所在地別セグメント情報

当第3四半期連結累計期間(自 平成21年3月1日 至 平成21年11月30日)

	日本 (百万円)	欧州 (百万円)	その他 (百万円)	計 (百万円)	消去又は全社 (百万円)	連結 (百万円)
売 上 高						
(1) 外部顧客に対する売上高	154,014	28,615	5,206	187,837	—	187,837
(2) セグメント間の 内部売上高又は振替高	1,131	315	63	1,510	(1,510)	—
計	155,145	28,931	5,270	189,348	(1,510)	187,837
営 業 利 益 又 は 営 業 損 失 (△)	8,902	△2,564	△377	5,960	412	6,373

(注) 1 国または地域の区分は、地理的近接度によっています。

2 各区分に属する国または地域は以下のとおりです。

欧州…… イギリス・イタリア・フランス・ドイツ

その他… 米国・中国・韓国

3. 海外売上高

当第3四半期連結累計期間(自 平成21年3月1日 至 平成21年11月30日)

	欧州	その他	計
I 海外売上高(百万円)	19,094	12,488	31,583
II 連結売上高(百万円)	—	—	187,837
III 連結売上高に占める 海外売上高の割合(%)	10.2	6.6	16.8

(注) 1 国または地域の区分は、地理的近接度によっています。

2 各区分に属する国または地域は以下のとおりです。

欧州…… イギリス・イタリア・フランス・ドイツ

その他… 米国・中国・韓国

3 海外売上高は、当社及び連結子会社の本邦以外の国または地域における売上高です。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

「参考資料」

前年同四半期に係る財務諸表等
 (1) 四半期連結損益計算書

科 目	前年同四半期 (平成21年2月期 第3四半期)
	金額(百万円)
I 売上高	206,018
II 売上原価	110,519
売上総利益	95,499
III 販売費及び一般管理費	82,553
営業利益	12,945
IV 営業外収益	3,491
1 受取利息及び配当金	597
2 受取地代家賃	1,040
3 持分法投資利益	329
4 その他	1,523
V 営業外費用	4,127
1 売場什器除却損	224
2 為替差損	3,259
3 その他	644
経常利益	12,309
VI 特別利益	1,160
1 関係会社株式売却益	1,120
2 その他	39
VII 特別損失	18,526
1 投資有価証券評価損	17,882
2 その他	643
税金等調整前四半期純損失(△)	△ 5,056
法人税、住民税及び事業税	6,572
法人税等調整額	△ 2,238
少数株主利益	300
四半期純損失(△)	△ 9,690

(2) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

	前年同四半期 (平成21年2月期 第3四半期)
区分	金額(百万円)
I 営業活動によるキャッシュ・フロー	
1 税金等調整前四半期純損失(△)	△ 5,056
2 減価償却費	4,709
3 減損損失	97
4 のれん償却額	1,384
5 貸倒引当金の増加額	206
6 退職給付引当金の減少額	△ 348
7 受取利息及び受取配当金	△ 597
8 支払利息	360
9 関係会社株式売却益	△ 1,120
10 投資有価証券評価損	17,882
11 売上債権の増加額	△ 9,663
12 たな卸資産の増加額	△ 5,051
13 仕入債務の増加額	1,895
14 その他	3,424
小計	8,123
15 利息及び配当金の受取額	970
16 利息の支払額	△ 285
17 法人税等の支払額	△ 6,863
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,945
II 投資活動によるキャッシュ・フロー	
1 定期預金の預入支出	△ 144
2 定期預金の払戻収入	144
3 有形固定資産の取得による支出	△ 1,785
4 有形固定資産の売却による収入	44
5 投資有価証券の取得による支出	△ 3,322
6 投資有価証券の売却による収入	1,186
7 長期前払費用に係る支出	△ 547
8 連結範囲の変更を伴う子会社株式取得 に よ る 支 出	△ 39,347
9 少数株主持分の取得による支出	△ 3,105
10 その他	2,290
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 44,586
III 財務活動によるキャッシュ・フロー	
1 短期借入金の増減額	30,164
2 自己株式の取得による支出	△ 23
3 親会社による配当金の支払額	△ 4,699
4 少数株主に対する配当金の支払額	△ 188
5 その他	22
財務活動によるキャッシュ・フロー	25,275
IV 現金及び現金同等物に係る換算差額	△ 307
V 現金及び現金同等物の減少額	△ 17,672
VI 現金及び現金同等物の期首残高	36,775
VII 現金及び現金同等物の四半期末残高	19,102